

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 株式会社キューブシステム 上場取引所 東  
 コード番号 2335 URL <https://www.cubesystem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室長 (氏名) 北垣 浩史 TEL 03-5487-6030  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,892	△2.4	272	△28.1	271	△30.5	173	△34.0
2022年3月期第1四半期	3,987	18.2	378	56.5	390	57.1	262	59.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 374百万円 (22.0%) 2022年3月期第1四半期 307百万円 (32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.84	—
2022年3月期第1四半期	19.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,953	7,346	73.8	543.58
2022年3月期	10,064	7,214	71.2	531.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,346百万円 2022年3月期 7,170百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	15.00	23.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	23.00	—	27.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 50周年記念配当 12円00銭

2023年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 50周年記念配当 12円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,155	1.2	749	0.4	754	0.3	505	0.7	37.33
通期	17,300	7.5	1,530	7.9	1,545	7.8	1,000	5.9	73.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、(添付資料) 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	14,500,000株	2022年3月期	14,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	984,592株	2022年3月期	1,000,392株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	13,504,875株	2022年3月期1Q	13,590,108株

(注) 期末発行済株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式 (2023年3月期1Q 601,900株、2022年3月期 617,700株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2023年3月期1Q 612,433株、2022年3月期1Q 357,600株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.cubsystem.co.jp/ir/>) で同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に経済社会活動の制限が緩和され、景気には回復の兆しが見えました。一方で、中国の感染症拡大やウクライナ情勢の長期化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、事業戦略の転換に足踏みする企業があるものの、経済活動は活性化の動きが広がっており、様々な業種や企業規模においてDX需要を刺激して、情報化関連投資が拡大すると見込まれます。当社の属する情報サービス産業では、営業・販売活動のデジタル化への取り組みや、DX技術を活用したシステムインテグレーション、管理運用受託が堅調に推移しております。一方でエンジニアの不足は依然として続いており、成長の制約となる懸念も出ております。

当社グループにおきましては、人材育成や情報化投資等の経営基盤の整備に加え、事業構造モデルの更なる変革を通じたSIビジネスの拡大とエンハンスビジネスの収益性の改善に努めました。しかしながら、一部の案件にて受注時期の遅れがみられたこと並びに、エンハンスビジネスでの利益率向上施策の効果が想定以下に留まることとなりました。その結果、売上高は前年同期並みの3,892百万円（前年同期比2.4%減）となりました。また、営業利益は272百万円（同28.1%減）、経常利益は271百万円（同30.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は173百万円（同34.0%減）で推移いたしました。引き続き、DX人材育成に努めるとともに、エンハンスビジネスで収益性を改善してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少226百万円によるものです。また、固定資産合計は2,412百万円となり、前連結会計年度末と比べ153百万円増加いたしました。

これらの結果、総資産は9,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少191百万円、賞与引当金の減少139百万円、未払金の減少120百万円によるものです。固定負債は809百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円増加いたしました。

これらの結果、負債合計は2,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加192百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は73.8%（前連結会計年度末は71.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動への制約拡大に加え、円安、エネルギー価格の高騰による経済の悪化懸念が大きい場合には、業績予想を変更する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,058,095	4,883,246
売掛金及び契約資産	2,584,355	2,357,671
有価証券	-	100,000
仕掛品	16,439	17,281
その他	147,277	183,134
貸倒引当金	△667	-
流動資産合計	7,805,500	7,541,334
固定資産		
有形固定資産	169,139	156,993
無形固定資産	4,954	4,548
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278,721	1,457,368
退職給付に係る資産	194,324	194,099
その他	611,890	599,510
投資その他の資産合計	2,084,936	2,250,979
固定資産合計	2,259,029	2,412,521
資産合計	10,064,530	9,953,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	753,109	729,376
短期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	231,054	39,457
賞与引当金	364,188	224,705
役員賞与引当金	10,200	2,546
受注損失引当金	3,382	964
その他	597,483	560,505
流動負債合計	2,199,418	1,797,555
固定負債		
株式報酬引当金	309,136	326,271
資産除去債務	138,558	138,685
その他	203,097	344,684
固定負債合計	650,792	809,641
負債合計	2,850,211	2,607,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,978	768,978
資本剰余金	705,435	704,842
利益剰余金	6,006,514	5,967,485
自己株式	△759,459	△745,509
株主資本合計	6,721,467	6,695,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370,912	563,759
為替換算調整勘定	21,851	38,016
退職給付に係る調整累計額	55,932	49,085
その他の包括利益累計額合計	448,696	650,861
非支配株主持分	44,155	-
純資産合計	7,214,319	7,346,658
負債純資産合計	10,064,530	9,953,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,987,278	3,892,957
売上原価	3,124,643	3,107,445
売上総利益	862,634	785,511
販売費及び一般管理費	483,829	513,303
営業利益	378,804	272,208
営業外収益		
受取利息	692	574
受取配当金	4,448	4,847
その他	8,591	2,263
営業外収益合計	13,731	7,686
営業外費用		
支払利息	435	334
為替差損	1,296	6,718
その他	772	1,714
営業外費用合計	2,504	8,767
経常利益	390,032	271,128
税金等調整前四半期純利益	390,032	271,128
法人税等	126,451	97,697
四半期純利益	263,580	173,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	641	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,939	173,430

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	263,580	173,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,992	192,847
為替換算調整勘定	2,050	16,165
退職給付に係る調整額	△12,473	△7,595
その他の包括利益合計	43,570	201,417
四半期包括利益	307,151	374,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,595	374,847
非支配株主に係る四半期包括利益	555	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。